

佐久市臼田文化センター運営委員会次第

日 時 令和元年6月5日(水)
午前10時～

場 所 臼田文化センター 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 会長選出・職務代理指名

4 会議事項

(1) 平成30年度事業報告について

(2) 令和元年度事業計画(案)について

(3) その他

5 閉 会

平成30年度臼田文化センター事業報告

1. 収蔵資料の展示

○1階ロビー

- ・市指定文化財等の写真と概要説明
- ・遺跡出土品
縄文時代の資料を中心に展示

○2階展示室

- ・龍岡城五稜郭関係資料
写真、龍岡城構造図等の展示
- ・大奈良遺跡、反田遺跡（いずれも臼田）から出土の縄文時代中期の土器を展示
- ・寄山遺跡群（現佐久リサーチパーク）から出土した土偶の展示
- ・近津土地区画整理事業（長土呂）に伴う発掘調査により確認された土器、和同開珎、奈良三彩（陶器）などの展示
- ・その他遺跡出土品
唐松B遺跡（平林）、月夜平遺跡（入澤）、北西の久保遺跡、円正坊遺跡Ⅷ（ともに岩村田）、権現山窯跡（八幡）、北畑Ⅲ遺跡、宮浦遺跡、平馬塚遺跡Ⅱ（いずれも桜井）、八風山遺跡群（香坂）など

○展示替え

- 文化財事務所職員による展示替えて、5月31日まで特別展示を実施
蛇塚古墳（臼田美里）から出土した刀 2点
- ・蕨手刀（わらびてとう）
 - ・立鼓柄刀（りゅうごつかとう）

2. 収蔵資料

- ・川村清人氏寄贈美術工芸品
- ・龍岡城五稜郭資料陣屋日記、藩校教科書、展示してある遺跡出土品等
- ・一般書、市町村史等、郷土図書、書類・写真等

3. 誘客対策

○佐久市ホームページ、広報サクライフでの周知

開館日等の利用や特別展示の案内を、文化財事務所と連携して情報提供

○市内の関係施設への案内チラシの設置

- ・小満祭のチラシにセンターの位置や説明を掲載
- ・「五稜郭であいの館」に、臼田文化センターの五稜郭の資料に係る案内チラシ設置

○市内施設見学のコースへの組み入れ
文化財事務所とセットでの実施などを担当課に依頼

○会議室の活用について、団体等への声掛け

○施設の利用案内等の案内看板設置

○企画展について
複数の案件で検討を行ったが、実現には至らなかった

○利用状況について（下表）

H28～30年 日田文化センター利用状況

（単位：人、円、％）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
入館者数	28年度	96	93	98	98	89	85	559	88	69	67	69	60	88	441	1,000
	29年度	43	62	35	53	70	50	313	40	33	27	56	38	49	243	556
	比較H28-H29	△ 53	△ 31	△ 63	△ 45	△ 19	△ 35	△ 246	△ 48	△ 36	△ 40	△ 13	△ 22	△ 39	△ 198	△ 444
	伸率	△ 55.2	△ 33.3	△ 64.3	△ 45.9	△ 21.3	△ 41.2	△ 44.0	△ 54.5	△ 52.2	△ 59.7	△ 18.8	△ 36.7	△ 44.3	△ 44.9	△ 44.4
	30年度	55	82	82	80	89	97	485	61	48	32	64	71	58	334	819
	比較H29-H30	12	20	47	27	19	47	172	21	15	5	8	33	9	91	263
	伸率	27.9	32.3	134.3	50.9	27.1	94.0	55.0	52.5	45.5	18.5	14.3	86.8	18.4	37.4	47.3

令和元年度臼田文化センター事業計画（案）

1 収蔵資料の展示

入館者の新規開拓に向けては、PR方法だけでなく、展示内容の変更や工夫が欠かせないことから、文化財事務所と調整し、充実を図る。

○1階ロビー

・文化財等の資料や出土品の展示について、長年内容が変わっていないものもあることから、そのあり方について検討を行っていく。

○2階展示室

・毎年、文化財事務所職員により市内遺跡出土品等の展示替えが行われており、時期をあわせて周知を行っていく。

2 収蔵資料の整理・活用

文化財事務所と協議し、活用方法を検討する。

○川村清人氏寄贈美術工芸品

○龍岡城五稜郭資料陣屋日記、藩校教科書、展示してある遺跡出土品等

○郷土図書、一般書、市町村史等

3 誘客対策（案）

○佐久市ホームページ、市広報「サクライフ」による周知 展示替えに合わせた、特徴的な展示品等のPR。

○市内施設見学のコースへの組み入れ

文化財事務所（駒場）とセットでの実施などを担当課に依頼。
市内施設見学（本年10月31日）の実施予定あり。

○八十二文化財団提携施設として、周知への活用

今年度から提携施設となったことに伴い、友の会会員向けに当センターの情報も提供されることから、周知等への活用を図っていく。

○特別企画について

文化財事務所職員による、「文化センター収蔵品の解説会（仮称）」

8月7日（水）～9日（金）のいずれか

広報サクライフ8月号、および小学校への案内チラシの配布による周知